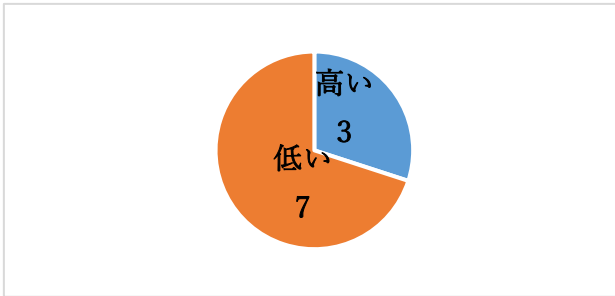


2022 年 8 月 30 日  
日本ユネスコ協会連盟

「ユネスコ創造都市ネットワーク」に関する「ユネスコ協会」へのアンケート結果

### 1. 「市民」のユネスコ創造都市に関する認知度



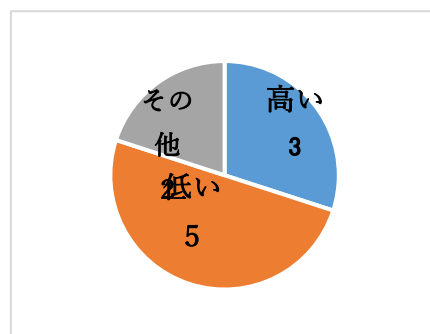
<低い理由>

- ・ 広報活動が関連業界など限定的
- ・ 専門性が高く、一般市民には難解
- ・ 理念や意義について未だ理解が進んでいない。

<高い理由>

- ・ 地元紙への掲載、イベント等の実施など広報活動が積極的
- ・ 他の登録都市とも連携、PR

### 2. 「ユネスコ協会会員」の認知度



<低い理由>

- ・ 専門性が高く、ユネスコ協会会員が活動に参画できそうにない。
- ・ 市との協働で市民に呼びかける大きなイベントがない
- ・ 市はネットワーク加盟に関し、ユ協とは別のスタンスをとってきており、双方が関与することがない

〈高い理由〉

- ・シンポジウムが開催の際に、会員に周知を行っているほか、当連盟加盟校のユネスコ部の生徒たちも行事にも参加
- ・会員であれば、ユネスコ活動への関心が高い

〈その他〉

- ・ユネスコ創造都市ネットワークを推進する民間の協議会会員となり、実行委員として参画したので、徐々に理解が進んでいる。
- ・「民間ユネスコの日」等でパネル展示を行う際に、ユネスコ創造都市の国内登録地の紹介を行うなど啓発等に努めているが、会員全体の認知度が高い状況ではない。

### 3. 主たる推進団体名

1) 主たる推進団体は、市等の行政機構 4、推進協議会 4

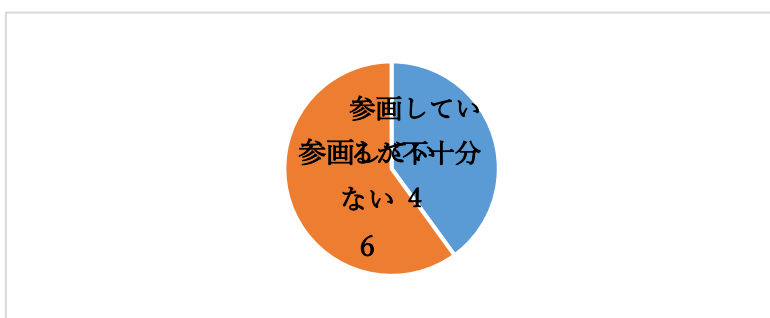
(分からない理由)

- ・意識してアプローチしていない、協議会からも連絡がない。
- ・当協会の認識不足。

2) ユネスコ協会の参加・関与の状況

- ・創造都市推進協議会副会長、イベント実行委員会副会長として参画
- ・近隣の2ユネスコ協会が協力して、支援を約束している（地元のユネスコ協会は解散）
- ・昨年度行われたシンポジウムに参加。

### 4. ユネスコ創造都市ネットワークの推進へのユネスコ協会の参画



1) 参画しているが不十分である。

- ・イベントでのユネスコ協会としてのテナント出店、他の団体へ参加を促進、実行委員会本部の役割を受け持つ。しかし、こうした活動によっていまだ当協会の役員に理解されたレベルであり、会員の意志による積極的なかわりにはなっていない。
- ・無形文化遺産の「和食」をテーマとした講演会を開催し、その中でユネスコ創造都市の「食文化」の紹介も行った。今後、ユネスコ関係の機関がネットワークを構築して一層

の活動が期待されるが、現時点では十分ではない。

- ・シンポジウムへの参加、市役所への当連盟会長訪問等は行ったが、十分に活動できていない。

## 2) 参画していない理由と参画の為に必要な事項

- ・認定以後の推進会議などには関わっていない。市のユネスコスクールの申請時も同様に、当協会に協力打診がなかった。
- ・ユ協は特に声を掛けられることもなく、蚊帳の外に置かれている状態。参画・連携を進めるためには、市に市民からの関心を高めていく事業を着実に展開していただくとともに、ユネスコ協会としての力量を高めておくことが大切。
- ・専門性が高く力量的に参画できそうにない。実行委員会から参画要請もない。
- ・当協会の情報不足と自治体との連携が乏しい。

## 4. ユネスコ創造都市ネットワークをさらに推進していくための意見

- ・イベント実行委員会として協力し、市民参加者 400 名以上のアンケートでは、体験、実験を楽しいと感じた小中学生が多かった。また、約 60 パーセントが SDGs やユネスコ創造都市ネットワークへの関心が高まったとしている。このことから、実践を伴う事業を続けることと同時にしっかり振り返りを行うことで、市民の意識が変わり、ユネスコ創造都市の推進に繋がると思う。行政の姿勢を市民が理解するためには、分かりやすい行政のアクションが必要だと思う。
- ・協会側からの働きかけが必要で、自分たちが関わる事で推進の力にプラスになることを市に認識してもらう必要がある。
- ・市の実行委員会が、従前通り活動を継続して行くことが肝要と思う。
- ・当協会としてはこのアンケートで登録の事実を再確認した程度だった。改めて本格的に参画したい。

### <本アンケートについて>

対象：ユネスコ創造都市に認定されている当該市にあるユネスコ協会もしくはユネスコ創造都市と連携を図っているユネスコ協会（10 協会）を対象に、2022 年 8 月実施。

内訳：旭川市<旭川ユネスコ協会>、札幌市<札幌ユネスコ協会>、  
鶴岡市<酒田ユネスコ協会・仙台ユネスコ協会>、金沢市<石川県ユネスコ協会>、  
浜松市<浜松ユネスコ協会>、名古屋市<名古屋ユネスコ協会>、  
丹波篠山市<丹波篠山ユネスコ協会>、神戸市<神戸ユネスコ協会>、  
臼杵市<大分県ユネスコ協会連盟>  
※山形市は該当するユネスコ協会がないためアンケートを実施せず。

旭川西高校の「課題探究」は、「商品化」に発展。



まちなかキャンパス 2022 に出展 (6月)

「酒粕はカスじゃない！」SDG2,12,課題探究の成果発表。



Smile Marche 2022 に出店 (8月)

「酒粕ワッフル」を後輩と一緒に作成、先輩も販売。

参加費、材料費などをクラウドファンディングにて捻出。



#北海道 #旭川 #地域 #子ども・教育 #フード #特産品 #学生のチャレンジ #イベント

## 酒粕はカスじゃない！プロジェクト～酒粕の廃棄をゼロへ～ver.1

酒粕の廃棄ゼロへ～旭川から世界へ～



支援総額

59,000円

目標金額 100,000円

59%

支援者 残り  
11人 34日

フォローする

プロジェクトの支援にすすむ  
(※ログインが必要です)

シェア ツイート LINEで送る noteで書く

目標金額を達成した場合のみ、実行者は集まった支援金を受け取ることができます(All-or-Nothing方式)。支援募集は9月30日(金)午後11:00までです。

## 補足：まちなかキャンパスへの 多様な団体の参画例

【NPO 法人カムイ大雪バリアフリー研究所】



2018 年度受賞/ UD みこし

【地元商店街の皆さんによる、まちなかキャンパス応援団】

まちなかキャンパス × 私たちのお店が取り組む SDGs

きもの目黒は

日本の誇り、伝統工芸の着物を中心とした  
和文化を次世代に繋げること

に取り組んでいます

SDGs 4 11 12

当ビル8F